



# 広報こしら

1980  
3/1  
No. 180

■ 発行 / 越路町役場 (新潟県三島郡越路町) TEL (02589) 2-3111 ■ 印刷 / 大川印刷株式会社



塚野山向坂スキー場で

町の人口		
住民基本台帳人口 (1月末日現在)		
世帯数	3,235戸	前月比 -3
人口	14,318人	-3
内訳	男 6,991人	-17
	女 7,327人	+14

雪のない正月を迎えた喜びも束の間、今年はマラソン豪雪に見舞われ、町民の皆さん大変ご苦労さまでした。

この豪雪にも負けず、去る2月17日塚野山向坂スキー場において、町民スキー大会が行われ7種目の競技に約100名の方々が参加し、盛大のうちに終了しました。

## おしらせ

### 3月 広報カレンダー

1 土	防火デー	17 月	彼岸入り
2 日		18 火	心配ごと相談 (1:00~4:00福祉センター) 国民年金相談日 (9:00~4:00 役場)
3 月	ひな祭 耳の日	19 水	高齢者職業紹介 (1:00~4:00福祉センター)
4 火	心配ごと相談 (1:00~4:00福祉センター)	20 木	春分の日
5 水	啓蟄	21 金	行政相談日 (9:00~2:00役場) 麻しん(はしか)予防接種 (2:00~3:00岩塚小学校)
6 木		22 土	
7 金	消防記念日	23 日	彼岸明け
8 土		24 月	
9 日		25 火	心配ごと相談 (1:00~4:00福祉センター) 麻しん(はしか)予防接種 (2:00~3:00福祉センター)
10 月		26 水	麻しん(はしか)予防接種 (2:00~3:00 塚野山集落開発センター)
11 火	心配ごと相談 (1:00~4:00福祉センター)	27 木	麻しん(はしか)予防接種 (2:00~3:00浦区事務所)
12 水		28 金	妊娠婦検診 (2:00~3:00福祉センター) 母親学級 (1:30~2:00福祉センター)
13 木		29 土	
14 金		30 日	
15 土		31 月	
16 日			

◎ 麻しん(はしか)予防接種 対象者	昭和五十二年一月生まれから昭和五十三年十二月生まれまで。
◎ 妊娠婦検診対象者	妊娠届けのすんだ妊婦と昭和五十四年十二月一日から昭和五十五年一月二十一日までに分娩した者
◎ 母親学級対象者	妊娠届けのすんだ妊婦。

火事・救急車は  
一一九番へ

一年間新住所へ転送郵便局へ「転居届」を

三月から四月にかけては就職・進学・転勤などで、住所のかわる方が多い時期です。転居する場合市町村役場へは届けを出しますが、ついうつかりしがちなのが、郵便局への「転居届」です。

郵便局へ転居届を出しておきませんと、友人や知人などから出されたお便りが、あなたの手元へ届かない場合もありますので、必

三月から四月にかけては就職・進学・転勤などで、住所のかわる方が多い時期です。転居する場合市町村役場へは届けを出しますが、ついうつかりしがちなのが、郵便局への「転居届」です。

郵便局へ転居届を提出する場合、引越しなどでお忙しい場合には、次のことを郵便局へ記入の上、ボストへ入れてください。

①届出年月日 ②届けを出す方の氏名③旧住所④新住所⑤住所を変更する方の氏名⑥郵便物の転送を開始する日

郵便局では、転居届を提出されると、旧住所と新住所のそれぞれの配達を受け持つ郵便局で、配達名簿を修正し、転送の希望の日から一年間、新しい住所へ転送します。

郵便局へ転居届を出しましょう。

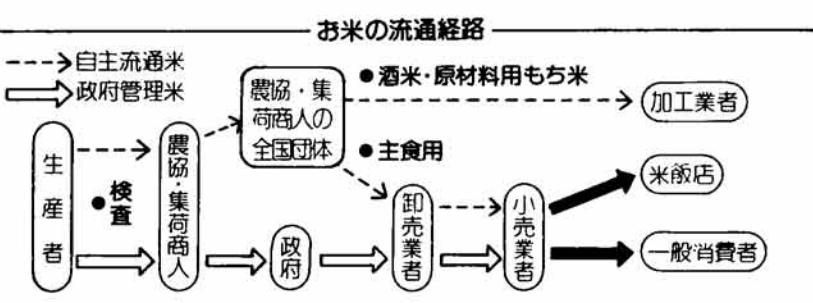
## 自給率一〇〇%の主食

# 米の消費拡大を

「やつとメシが見えるようになりました」——単に「ご飯が食べられる」ということではなく、一人前の独立した生活が営めるようになったという意味であることは、この言葉からもわかるように、

お米は長い間わたしたちの生活と深くかかわりあつてきました。最近、生活の洋風化などから、「お米離れ」の傾向があるようですが、今後、自給率百%の主食として、また豊富な栄養源として、お米はもっと見直されていいので

はないでしょうか。  
お米の種類と栄養価値についてスポットを見てみました。



## お米のルートは一通り

農家で作られたお米が、消費者の手にわたるまで、その流通経路は二つに分かれます。そして、それぞれの流通経路によって政府管理米と自主流通米という二つの違った名前で呼ばれています。

**政府管理米**  
お米は、国民の主食。その確保と分配を公平に行うため、「食糧管理法」によって政府がお米を買い上げ、保管し、その出し入れを管理しているのが、政府管理米または政府米と呼ばれるものです。

小売価格は、政府が米価審議会にはかり、家計に及ぼす影響などを考慮して決められます。

## 自主流通米

お米は、国民の主食。その確保と分配を公平に行うため、「食糧管理法」によって政府がお米を買い上げ、保管し、その出し入れを管理しているのが、政府管理米または政府米と呼ばれるものです。

小売価格は、政府が米価審議会にはかり、家計に及ぼす影響などを考慮して決められます。

**一級品の主食 それはお米**  
タンパク質は、体の血や肉をつくる大切な栄養素です。わたしたち日本人は、タンパク質摂取量の約四分の一をお米からとっています。ところで、タンパク質は、約二十種類のアミノ酸でできていますが、このうちの八種類を必須アミノ酸といいます。この必須アミノ酸は、他のアミノ酸のように体内で摂取された栄養素から合成することができないので、食物として摂取しなければなりません。

タンパク質は、体の血や肉をつくる大切な栄養素です。わたしたち日本人は、タンパク質摂取量の約四分の一をお米からとっています。ところで、タンパク質は、約二十種類のアミノ酸でできていますが、このうちの八種類を必須アミノ酸といいます。この必須アミノ酸は、他のアミノ酸のように体内で摂取された栄養素から合成することができないので、食物として摂取しなければなりません。

米のタンパク質は魚よりも高く、牛乳や大豆と肩をならべるほどの優秀さです。お米は、栄養的にみて、まさに入れて、余分な水分をなくしそう。

自給率一〇〇%の主食は、自主流通米制度です。この制度は、「値段は少々高くてもいいから、おいしいお米を食べたい」という消費者のみなさんの要望で、昭和四十四年六月から始められたものです。ササニシキやコシヒカリといった政府指定の良質銘柄米がこれにあたります。

さて、値段ですが、このような品質のよい銘柄米は、普通のお米に比べて稻を育てる手間もよけにかかり、収穫量も七割程度と少なくなります。このため生産費が高くなっています。

すぐれた「タンパク源」  
年六月から始められたものです。ササニシキやコシヒカリといった政府指定の良質銘柄米がこれにあたります。

さて、値段ですが、このような品質のよい銘柄米は、普通のお米に比べて稻を育てる手間もよけにかかり、収穫量も七割程度と少なくなります。このため生産費が高くなっています。

△容器は、上から入れて下から出

す容器がよいでしょう。

△容器の置き場所は、乾燥して

て涼しく、直射日光の当たらない、

できるだけ暗い所がよいでしょう。

△炊飯器のスイッチが切れたら、

三五分後にもう一度スイッチを

入れて、余分な水分をなくしそう。

△米は生きものです。日がたつと味が落ちますので、半月分くらいを日安に買いましょう。

△容器は、上から入れて下から出

す容器がよいでしょう。

△容器の置き場所は、乾燥して

て涼しく、直射日光の当たらない、

できるだけ暗い所がよいでしょう。

△炊飯器のスイッチが切れたら、

三五分後にもう一度スイッチを

入れて、余分な水分をなくしそう。

△容器は、上から入れて下から出

す容器がよいでしょう。

△容器の置き場所は、乾燥して

て涼しく、直射日光の当たらない、





# 義務教育に別れを告げて

とまどいを  
乗り越えて

今春、中学校を卒業されるみなさん、卒業おめでとう。九年間の義務教育を終え、うれしかった思い出、悲しかった思い出など、たくさん思い出を胸に刻み、先生と後輩に別れを告げる

日が訪れました。  
この長い義務教育で習得したすべてを、これから歩む「自分の道」の心の糧として、大いに活用したいものです。

今年の卒業生は、越路中学校百五十一名、塙山中学校三十三名のみなさんです。これから時代を担う卒業生のなかから、次の四名の生徒さんから感想文をいただきました。



## 卒業にあたつて

制的に書かせられ、半分迷惑のような感じが多かったが、今は僕の一番大切な宝の一つとなっている。

日記の内容には、学習部活動、友人などの事が上げられる。今読み返してみて、一番心に残っている事は先生との意見の対立である。話し合いそして解決へ、その経過の様子を、日記を読み返すことにより考えてみたい。その事により自分が他の人の間の心の目を開き、他人の気持ちを少しでも理解できるようになり、さらには、今自分が今までの出来事を思い出してみると、意外に時間の経過するのがはやく感じられるし、二年間とても充実していたとも思われてきた。

卒業にあたり、今僕が一番書きたいことは、二年生の時に、担任の先生から勧められて、書きはじめた日記の事である。初めは、強調的に書かせられ、半分迷惑のような感じが多かったが、今は僕の一番大切な宝の一つとなっている。

日記のおかげだと思ふ。日記をつけたのは一年間だけだったが、おかげで自分の心の成長過程が手にとるようによくわかり、ある程度の正しさを身につけることができた。ほんとうにこの日記を勧めてくださった先生に感謝している。

僕の中学校生活をえがいた僕自身の本であるとも言える日記。それがら得た正しい知識、考え方、行動などを身につけて今までの出来事を見て、六年で一つのボルを追いかけていく姿、チームワークの大好きなスポーツ、バレーボールにあこがれをもち、自分でも動などが、ほぼ正しい方向に動かせたようだ。

また、それと同時にそういう知識もある程度正確に身についてきたのではないかと思う。つまりその期間に自分の心の成長が一番著しく、小供からおとなへの大きな飛躍だったような気がする。

これらの事に気がつくのは、やはり日記のおかげだと思う。日記をつけたのは一年間だけだったが、おかげで自分の心の成長過程が手にとるようによくわかり、ある程度の正しさを身につけることができた。ほんとうにこの日記を勧めてくださった先生に感謝している。

僕の中学校生活をえがいた僕自身の本であるとも言える日記。それがら得た正しい知識、考え方、行動などを身につけて今までの出来事を見て、六年で一つのボルを追いかけていく姿、チームワークの大好きなスポーツ、バレーボールにあこがれをもち、自分でも動などが、ほぼ正しい方向に動かせたようだ。

また、それと同時にそういう知識もある程度正確に身についてきたのではないかと思う。つまりその期間に自分の心の成長が一番著しく、小供からおとなへの大きな飛躍だったような気がする。

これらの事に気がつくのは、やはり日記のおかげだと思う。日記をつけたのは一年間だけだったが、おかげで自分の心の成長過程が手にとるようによくわかり、ある程度の正しさを身につけることができた。ほんとうにこの日記を勧めてくださった先生に感謝している。



## 今年の卒業生は、越路中学校百

日が訪れました。  
この長い義務教育で習得したすべてを、これから歩む「自分の道」の心の糧として、大いに活用したいものです。

今年の卒業生は、越路中学校百五十一名、塙山中学校三十三名のみなさんです。これから時代を担う卒業生のなかから、次の四名の生徒さんから感想文をいただきました。

## 思　い　出

塙山中学校 五十嵐 功



活動の中で最も印象に残っているのは、やはり生徒会最大の行事であった体育祭だ。

## 三年間の思　い　出

塙山中学校 大塚まさ子



活動の中で最も印象に残っているのは、やはり生徒会最大の行事であった体育祭だ。

所定の確定申告と納税は、三月十五日までです。まだお済みにならない方は、お早めに済ませてください。

この前入学したと思ったらもう卒業。なんだか月日のたつのが、とっても早かったような感じがします。

この三年間を振り返ってみて、とても印象的だったことは、一年の時の火打山登山で、この時は足が棒になるほど歩きましたが、頂上に着いたときの喜びは、今でも忘れません。それに、ふだん見ることのできない美しい風景もたくさん見ることができ、本当によかったです。

この経験は忘れることができないと思うし、また、この経験を基としこれから進んでいこうと思う。

それから、京都、奈良への修学旅行。とっても楽しみで、前の日の夜はなかなか眠ることができませんでした。そして、見物するところどころで、感心してばかりいました。

それから楽しかったことといえば、もう毎日がそうでした。休み

は、もう毎日がそうでした。休み

も始めはうまくいかなかつたが、四月になり新年度になるとようやく慣れてきた。

立会演説会では、あがつてしまい自分で何を言ったのかわからなかつた。投票の日はもうどうでもなれという気持ちだつた。

その投票から一ヶ月後に僕たちの執行部が活動を開始した。それも始めはうまくいかなかつたが、四月になり新年度になるとようやく慣れてきた。

この三年間とても多くのことがあつた。しかし、そのたくさんの事の中でも最も心に残ると思えるのは、三年のときの生徒会活動である。その理由は僕が生徒会長を努めさせてもらつたからである。

一年のときは、生徒会に参加するといつても特別な役員になつたわけではなく、ほとんど受身的な活動をしてきたのだが、二年生の十一月とつぜん学級の推選で生徒会長という役員に立候補ということになった。

立会演説会では、あがつてしまい自分で何を言ったのかわからなかつた。投票の日はもうどうでもなれという気持ちだつた。

その投票から一ヶ月後に僕たちの執行部が活動を開始した。それも始めはうまくいかなかつたが、四月になり新年度になるとようやく慣れてきた。

この三年

みるがの  
文藝  
欄

## 俳句越路俳壇

五年 佐藤 孝子

四年 笠井久美子

橋灯の凍てて足音のみ固く  
炬燵居に雪折れのひゞき聞きてあり  
星凍てローカル線の終車発つ

上田ひろ子

大矢銀風子

若林 雪峰

高橋 雨峰

内山 香葉

平賀 静山

五十嵐宇声

雪折れや回り道つく診療所

鳥島 冬山

白井 久藏

松井 登代

米山 節子

五十嵐宇声

初便り孫の仮名文字たどくし

雪折れの音喪の花輪震はする

小林満寿子

鶴 番場 春二

高野 市良

春 泰

五十嵐宇声

元日やまだ見ぬ孫の初便り

大根の凍み深々と削ぎ落す

大根 あき

平石 たづ

寒稽古凍てし道場に竹刀鳴る

平沢 今井

大平サダ子

大根の凍み深々と削ぎ落す

大根 あき

寒稽古凍てし道場に竹刀鳴る

大根 あき

五十嵐宇声

初便り昔なつかし筆のあと

大根 あき

五十嵐宇声

風上げや上がらぬ風に泣く子あり

大根 あき

五十嵐宇声

庭の池凍てつく夜半の寒きびし

大根 あき

五十嵐宇声

凍てし手を頬に温め母やさし

大根 あき

五十嵐宇声

春に向かって走る 走る

大根 あき

五十嵐宇声

盲人の杖を頼りに凍つる道

大根 あき

五十嵐宇声

ト鉢尼声あげて来る凍つる朝

大根 あき

五十嵐宇声

凍てる朝妻子とわかれ酒づくり

大根 あき

五十嵐宇声

寒稽古凍てし道場に竹刀鳴る

大根 あき

五十嵐宇声

雪折れや回り道つく診療所

大根 あき

五十嵐宇声

初便り孫の仮名文字たどくし

雪折れの音喪の花輪震はする

大根 あき

五十嵐宇声

初便り昔なつかし筆のあと

大根 あき

五十嵐宇声

風上げや上がらぬ風に泣く子あり

大根 あき

五十嵐宇声

庭の池凍てつく夜半の寒きびし

大根 あき

五十嵐宇声

凍てし手を頬に温め母やさし

大根 あき

五十嵐宇声

春に向かって走る 走る

大根 あき

五十嵐宇声

盲人の杖を頼りに凍つる道

大根 あき

五十嵐宇声

ト鉢尼声あげて来る凍つる朝

大根 あき

五十嵐宇声

凍てる朝妻子とわかれ酒づくり

大根 あき

五十嵐宇声

雪折れや回り道つく診療所

大根 あき

五十嵐宇声

初便り孫の仮名文字たどくし

雪折れの音喪の花輪震はする

大根 あき

五十嵐宇声

初便り昔なつかし筆のあと

大根 あき

五十嵐宇声

風上げや上がらぬ風に泣く子あり

大根 あき

五十嵐宇声

庭の池凍てつく夜半の寒きびし

大根 あき

五十嵐宇声

凍てし手を頬に温め母やさし

大根 あき

五十嵐宇声

春に向かって走る 走る

大根 あき

五十嵐宇声

盲人の杖を頼りに凍つる道

大根 あき

五十嵐宇声

ト鉢尼声あげて来る凍つる朝

大根 あき

五十嵐宇声

凍てる朝妻子とわかれ酒づくり

大根 あき

五十嵐宇声

雪折れや回り道つく診療所

大根 あき

五十嵐宇声

初便り孫の仮名文字たどくし

雪折れの音喪の花輪震はする

大根 あき

五十嵐宇声

初便り昔なつかし筆のあと

大根 あき

五十嵐宇声

風上げや上がらぬ風に泣く子あり

大根 あき

五十嵐宇声

庭の池凍てつく夜半の寒きびし

大根 あき

五十嵐宇声

凍てし手を頬に温め母やさし

大根 あき

五十嵐宇声

春に向かって走る 走る

大根 あき

五十嵐宇声

盲人の杖を頼りに凍つる道

大根 あき

五十嵐宇声

ト鉢尼声あげて来る凍つる朝

大根 あき

五十嵐宇声

凍てる朝妻子とわかれ酒づくり

大根 あき

五十嵐宇声

雪折れや回り道つく診療所

大根 あき

五十嵐宇声

初便り孫の仮名文字たどくし

雪折れの音喪の花輪震はする

大根 あき

五十嵐宇声

初便り昔なつかし筆のあと

大根 あき

五十嵐宇声

風上げや上がらぬ風に泣く子あり

大根 あき

五十嵐宇声

庭の池凍てつく夜半の寒きびし

大根 あき

五十嵐宇声

凍てし手を頬に温め母やさし

大根 あき

五十嵐宇声

春に向かって走る 走る

大根 あき

五十嵐宇声

盲人の杖を頼りに凍つる道

大根 あき

五十嵐宇声

ト鉢尼声あげて来る凍つる朝

大根 あき

五十嵐宇声

凍てる朝妻子とわかれ酒づくり

大根 あき

五十嵐宇声

雪折れや回り道つく診療所

大根 あき

五十嵐宇声

初便り孫の仮名文字たどくし

雪折れの音喪の花輪震はする

大根 あき

五十嵐宇声

初便り昔なつかし筆のあと

大根 あき

五十嵐宇声

風上げや上がらぬ風に泣く子あり

大根 あき

五十嵐宇声

庭の池凍てつく夜半の寒きびし

大根 あき

五十嵐宇声

凍てし手を頬に温め母やさし

大根 あき

五十嵐宇声

春に向かって走る 走る

大根 あき

五十嵐宇声

